

プラスチック資源循環促進法に基づく2024年度の取り組み状況について

1. 対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日

2. 排出抑制及び再資源化の取り組み状況について

排出抑制	目標	塗装工程における廃棄物低減対策を継続的に取り組むことにより、2025年度までに塗装工程から発生する 廃プラスチック（塗料ミスト等）の生産台数あたりの排出量を2019年度比で20%削減する				
	取り組み 状況	<div></div>	排出量（t/年）		生産台数（台）※2 (b)	原単位（kg/台） ((a)×1,000/(b))
			廃プラ全体	塗料ミスト等（a）		
		2019年度（基準年）※1	7,550	2,241	1,158,607	1.93
		2020年度	6,164	1,581	960,842	1.65
		2021年度	6,222	1,683	965,467	1.74
		2022年度	6,776	1,338	940,529	1.42
		2023年度	8,312	1,595	1,298,765	1.23
		2024年度	7,575	1,556	1,175,370	1.32
		2025年度（達成年）	—	—	—	1.55
※1 コロナ影響の少ない直近の2019年度を基準年とする ※2 トヨタ自動車単独での車両生産台数						
再資源化	取り組み 内容	・ 廃棄物処理業者従事者への教育・情報共有・啓蒙活動 ・ 分別徹底による有価物化及びマテリアルリサイクルの推進 ・ サーマルリサイクルの継続				
	取り組み 状況	上記活動を継続実施中				